

あきらめない

動画リンク: <https://youtu.be/tu-2d2kZuvA>

今回は「あきらめない」を学びながら、日本語を勉強しましょう。
この動画は、前半は少しゆっくりのスピードで、漢字には「ふりがな」があります。
後半は少しだけ速く（+20%）なり、漢字に「ふりがな」はありません。
学習にお役立てください。

■自己紹介

私の名前はマークです。日本に来たのは3年前で、今はIT会社でエンジニアとして働いています。仕事では、コンピューターのプログラムを作ったり、ウェブサイトを整えたりしています。日本に来たばかりの頃は、日本語や文化の違いに戸惑い、仕事面でも多くの課題に直面しました。お客様との会話や専門用語の理解が難しく、最初は思うように仕事が進まず、失敗も多かったです。

日本の職場で特に印象的だったのは、チームワークがとても重視されている点です。私が育った環境では個人の成果が重視されることが多かったのですが、日本ではチーム全体で協力し合いながら目標を達成する姿勢が大切にされています。最初は戸惑いもありましたが、今ではこの働き方にも慣れ、他の人と協力することで新しい発見や学びが得られることを実感しています。

こうした日本での経験を通して、私は「あきらめない」ことの大切さを学びました。挑戦と失敗を重ねながらも、一つひとつ壁を乗り越え、少しずつ成長しています。この気持ちやどのように私を支え、未来に繋がっているかについて、これからお話ししたいと思います。

■困難に直面するのは自然なこと

困難に直面することは、誰にでもあることです。どんな人でも、困難や挫折を経験します。困難な時期や失敗はつらいですが、誰にでも起こることなので心配しすぎる必要はありません。

たとえば、日本では入試に失敗する人がたくさんいます。大学や高校の試験はとて難しく、一度で合格できるとは限りません。また、社会に出ても、仕事でミスをするのはよくあります。重要な書類を間違えて送ってしまったり、上司の指示をうまく理解できなかつたりすることがあるでしょう。そんなとき、落ち込むことは自然なことですが、そこであきらめずにどう立ち直るかが大事です。

私自身も、何度も失敗を経験しました。たとえば、日本で働き始めたばかりの頃、私はお客様との打ち合わせで大きなミスをしてしまいました。お客様が求めていたことを十分に理解できていなかったのです。その結果、作ったプログラムは全然違うものになってしまい、修正するためにたくさんの時間がかかりました。私はとても落ち込みましたし、もうこの仕事は向いていないのではないかと思うほどでした。

しかし私はその失敗から、次のミスをなくすための学びを得ることができたと思います。何が間違っていたのか、どうすれば次に同じミスをしないかを考えました。そして、次の打ち合わせでは、もっと丁寧にお客様の要望を確認し、メモを取るようになりました。その結果、少しずつですが、失敗することが少なくなってきました。

困難に直面することは、誰にでもある自然なことです。大切なのは、困難や失敗をあきらめる理由にせず、それを成長の機会としてとらえることです。失敗から学び、次に進むことができれば、必ず前よりも強くなれます。

■あきらめなかった成功事例

日本には、あきらめない姿勢で成功を収めた人物が多くいます。たとえば、ソフトバンクの創業者である孫正義氏や、野球のイチロー選手です。彼らの成功は、才能だけでなく、何度も困難に直面しながらもあきらめず挑戦し続けた結果です。

孫正義氏は、ソフトバンクをゼロから築き上げたことで知られています。彼は在日韓国人として差別や偏見を受けましたが、目標を見失わず、アメリカに留学してビジネスを学びました。最初の頃はソフトバンクも小さな会社で、多くの失敗や困難に直面しましたが、彼は新しいビジネスチャンスを探し続けました。その結果、ソフトバンクは携帯電話事業やインターネット事業で成功を収め、今では日本を代表する企業となりました。孫氏の人生は、あきらめずに挑戦を続けることが成功への道を開くと教えてくれます。

イチロー選手は、メジャーリーグで活躍した世界的な野球選手です。高校時代から才能を発揮していたものの、プロ入り後はバッティングフォームに対する批判や一軍に定着できないという困難に直面しました。しかし、彼はあきらめずに自分のスタイルを追求し、毎日の練習を怠りませんでした。その結果、彼はメジャーリーグで新人王やMVPを獲得し、ヒット数の記録も打ち立てました。イチロー選手の成功もまた、あきらめない姿勢が大きな力を持つことを示しています。

このように、孫正義氏やイチロー選手は、逆境に直面しながらもあきらめず挑戦を続け、成功をつかみました。彼らの姿は、困難に直面しても挑戦を続けることが、最終的に成功に繋がるということを教えてくれます。

■あきらめない姿勢が自分を強くする

あきらめない姿勢が自分を強くするというのは、挑戦を続ける中で実感することです。どんな小さな挑戦でも、それを積み重ねることで自分の力が徐々に伸びていきます。私は日本に来たばかりの頃、公共交通機関を使いこなすことが大変でした。電車やバスのルール、切符の買い方、駅の複雑さなど、慣れないことがたくさんあり、特に都会の駅では迷ってしまうことが多かったです。

最初は駅での案内表示を読むのにも時間がかかり、移動がスムーズにできませんでしたが、毎日少しずつ挑戦し、迷いながらも目的地にたどり着く努力を続けました。ある日、初めて乗り換えをミスせずに目的地までたどり着いたとき、私は大きな達成感を得ました。それは小さな成功でしたが、それが自信に繋がり、さらに難しいルートにも挑戦できるようになりました。

このように、挑戦を続けることで得られる小さな成功体験は、自信をつけるためにとても大切です。少しずつ自分が成長していることを実感することで、もっと大きな挑戦にも前向きに取り組むことができるようになります。私は最初、短距離の移動に苦労していましたが、次第に日本国内での複雑な移動や観光地への長距離の移動にも挑戦できるようになりました。

この経験から学んだのは、あきらめずに挑戦し続けることが、成長と自信に繋がるといことです。最初は小さな挑戦でも、積み重ねることで大きな目標を達成する力がついていきます。挑戦し続けることで自分を強くし、前に進むためのエネルギーを得ることができるのです。だからこそ、どんなに小さなことでも、あきらめずに続けることが重要です。

■日本の文化に見るあきらめない精神

日本の文化には、あきらめない精神が深く根付いています。これは、長い歴史の中で培われた伝統や習慣に見られます。例えば、相撲や茶道といった日本文化は、上達を追い求めて粘り強く挑戦することが重要です。これらの伝統では、あきらめずに努力を続けることが求められ、成功には時間と忍耐が必要です。

相撲は日本を代表するスポーツであり、力士たちは毎日厳しい稽古に励んでいます。試合は短時間で終わることが多いですが、その裏には何年にもわたる努力があります。負けることもあります。力士たちはそこであきらめず、次に向けて再び自分を鍛えます。この姿勢は、日本人が目標に向かって粘り強く挑み続けることを象徴しています。また、日本には「土俵際」という言葉があります。相撲における土俵とは、そこから出て外に足がついてしまうと負けとなってしまう、戦いのフィールドのことです。その土俵のギリギリにいることを土俵際といいます。「土俵際に踏ん張る」など、決着の間際でも諦めないことを示す表現も多いです。

また、茶道は単なるお茶の作法ではなく、心を磨く修行の場でもあります。茶道を学ぶ人々は、動作や礼儀に細心の注意を払い、完璧さを追求します。習得には長い年月が必要で、日々の練習を通じて少しずつ上達します。すぐに辞めてしまうことなく、あきらめずに学び続ける姿勢を養うものであり、日本人が困難に直面しても努力を続ける精神に通じています。

このように、日本の伝統文化には、あきらめずに努力を積み重ねることの大切さが反映されています。この精神は現代の日本社会にも息づいており、日々の生活や仕事においても、粘り強く物事に取り組むことが重要視されています。日本の伝統から、粘り強く挑戦し続けることの重要性を学ぶことができます。

■すぐに実践できるあきらめない方法

あきらめずに挑戦し続けるためには、具体的な方法を知っておくことが大切です。ここでは、すぐに実践できるアドバイスを紹介します。

まず、小さなポジティブな目標を設定することが大切です。大きな目標を一度に達成しようとする、挫折しやすいです。そこで、達成可能な小さな目標を立て、それをクリアしていくことで前進している感覚を持ち続けることができます。例えば、1日10分の勉強や運動など、少しずつ進めることが自信につながります。

つぎ ぐたい てき けいかく た もくひょう わ まいにちすこ
次に、具体的な計画を立てることで、目標をステップに分け、毎日少しずつ
すすめると、目標が現実的に感じられます。例えば、1週間の勉強時間や学ぶ内
容をリスト化し、着実に進めていくと挫折しにくくなります。

また、失敗をしたときは気持ちを早く切り替えることが重要です。失敗を深く
悩まず、「これは学びのチャンスだ」と考えることでポジティブな気持ちを持
ち続けることができます。仕事や学業で失敗しても、それを次にどう活かすか
を考え、次の挑戦に繋がらしましょう。

サポートを求めることも忘れないようにしましょう。他の人のアドバイスや視
点が、自分には見えなかった解決策を見つける助けになります。家族や友人、
同僚と相談し、モチベーションを保つことができます。

最後に、失敗を恐れずに挑戦し続けることが大切です。失敗は成長のチャンス
と捉え、何度でも挑戦を続けることで必ず前進できます。あきらめずに一歩ず
つ進んでいくことが、最終的に大きな成果を生むのです。

■あきらめないことが人生を豊かにする

あきらめずに挑戦し続けることは、長期的に見て人生をプラスにしてくれると、
私は思います。人生にはすぐに結果が出ないことが多いですが、あきらめずに
挑戦し続けることで、時間がかかっても努力が実を結ぶ瞬間が必ず訪れます。

私は日本語を学び始めたころ、上達を感じられず何度もやめたくてなりましたが、
少しずつ勉強を続けた結果、最終的には日本語が話せるようになり、それが日
本で仕事をやるきっかけになりました。このように、あきらめずに続けること
が、新しいチャンスを開くことを実感しました。

また、あきらめないことで、自己成長を促すことができます。挑戦を続けるこ
とで、自分の限界を乗り越え、さらに自信がつけます。たとえ失敗しても、そ
れを乗り越えるたびに成長し、次の挑戦に向けた力を蓄えることができるので
す。この過程が、人生全体を豊かにし、より充実した日々を築くことにつな
がります。

新しいスキルを学び続けることで、思いもよらないチャンスや出会いが生まれることもあるでしょう。挑戦を通して視野が広がり、人生に新しい可能性が開けます。もし途中であきらめていたら、今の自分はなかったでしょう。長期的に見れば、あきらめないことが未来を豊かにしたと実感しています。

視聴者の皆さんも、困難に直面してもあきらめずに挑戦し続けてください。その努力は必ず実を結び、豊かな人生を築くことができるはずです。

■日本での挑戦とあきらめない気持ちの重要性
日本社会では、困難に直面してもあきらめずに努力を続ける人が評価されます。この姿勢は、キャリア形成や人間関係に大きな影響を与えます。

例えば、日本の職場では、問題や困難に直面してもあきらめずに解決を目指すことで、上司や同僚から信頼を得ることができます。日本の企業は結果だけでなく、過程や努力も重視するため、粘り強い挑戦が評価されるのです。学業においても同様で、学生が目標に向かってあきらめずに努力を続けることが大切です。たとえ試験や課題で失敗しても、再挑戦することで先生やクラスメイトから信頼を得られ、能力も向上します。これは、将来に役立つ力を養うきっかけとなります。

さらに、人間関係でも同じことが言えます。日本では信頼を築くためには時間がかかります。最初にうまくいかない場合でも、あきらめずに関係を続けていくことで、深い絆を作ることができ、キャリアや生活にプラスの影響を与えることが多いです。

あきらめない姿勢は、チャンスを広げます。日本では、一度の失敗が最終的な評価にはならず、失敗を乗り越えた人がさらに挑戦する機会を得ることができます。これにより、大きな成功に繋がる可能性もあります。

皆さんも、日本で生活する中で困難に直面することがあるでしょう。しかし、あきらめずに努力を続ければ、その努力が認められ、新しいチャンスが訪れるはず。あきらめないことで、豊かな人生とキャリアがきっと築けるはず。す。

「あきらめない」はいかがでしたか。
コメント欄から感想をみんなに教えてください。
それでは、また別の動画でお会いしましょう。



Japanese-listening-SUSHI

